

# 貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/05/18号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



## 【ゴールドマーケットの現状】

### 長期金利上昇でメタル大きく売られる

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



ゴールドは週後半までは4700ドル近辺での静かな動きだったのですが、金曜日に入り、世界各国で長期金利が大きく上昇、米長期金利も4.45%からほぼ4.60%近くまで上昇しました。これが強気に傾いていた貴金属市場に冷や水を浴びせる売り圧力となりました。ゴールドの高値は12日火曜日につけた4773ドルでしたが、金曜日につけた安値は4510ドル。長期金利の上げにほぼ完全に呼応する形でゴールドが下げました。このところの動きが比較的静かな狭いレンジであったために、より大きなインパクトがありました。今回の長期金利の上昇は、インフレ懸念というより、実質金利の上昇がその背景にあると思われます。実質金利の上昇は、機会コスト (opportunity cost) の上昇であり、これはゴールドにとっても株にとってもマイナス要因になります。30年金利が5%まで上昇し、5%と言えば資産運用の前提としての株式運用の目安として計算するリスクプレミアムが5%です。30年の確定利回りが5%あるとすれば、もはや株で運用する意味さえ薄れてくると言っていいでしょう。もし長期金利の上昇が続けば投資アセットにとっては頭が重たい状況になります。今後の長期金利の行方には注意が必要です。ただ、ゴールドに関していうと、2022年当たりから長期金利とゴールドが同時に上昇してきました。ゴールドと長期金利の関係は明らかに希薄化しています。金曜日のように短期的な材料になって金利が上昇してゴールドが売られるということはあるでしょうが、それが長期的に続くものではないと思います。そういう意味では短期的な抵抗とはなっても少なくとも過去4年を見る限り、金利上昇が絶対的にゴールドの頭を抑えるということには成らない可能性が高いです。ゴールドはとりあえず4500ドルが一つのポイントとなります。個人的には4500ドルまで下がったら買いたいレベルです。もし4500ドルを割ることがあれば、とりあえず様子を見ながら買い下がりをしていく所存です。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 【マーケット・トピック】

## 「シルバーの現状」

久しぶりに大きな動きとなりました。なんと週初79.75ドルから89.35ドルまで上昇、その後75.69ドルまで下げるといった驚異的なボラティリティとなりました。おそらく、120ドルの時と同じようにシルバーが80ドルを超えたことで、短期筋が参入、それで大きく上昇したが、長期金利の上昇で売りが出たことで一斉にゲットアウトしたという動きではないでしょうか。シルバーらしい。70ドル台前半は以前からの買いターゲットです。



## 「プラチナの現状」

プラチナもゴールドやシルバーと同じく激しい上げと下げに一週間でした。2200ドル手前まで上昇した後、2000ドル割れまで下げるといった大きな動き。長期金利の上昇が今後どのような影響を与えるのかに注目です。また今週はロンドンプラチナウィークです。2024年のプラチナ上昇の起点になったのがこのイベントでした。



## Gold ETF残高とゴールド価格



## 米長期金利とゴールド



## 円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

## 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで